

## 風水害対策

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

### 注意報

災害のおそれがあるときに発表されます。本誌などで避難行動を確認しましょう。

### 警報

重大な災害のおそれがあるときに発表されます。

### 特別警報

数十年に一度の大災害が起きると予想される場合に発表されます。危険な区域から避難できない方は、命を守るための最善の行動をとりましょう。

## 雨の強さと降り方

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上 30未満	強い雨	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる		ワイパーを速くしても見づらい	
30以上 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロブレーニング現象)
50以上 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる			水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる
80以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。				車の運転は危険

## 風の強さと吹き方

平均風速(m/s)	おおよその時速	風の強さ (予報用語)	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物の被害	おおよその瞬間風速(m/s)
10以上 15未満	~50km	やや強い風	一般道路 の自動車	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
15以上 20未満	~70km	強い風		風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。看板やトンネル板が外れ始める。	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。戸戸やシャッターが揺れる。	
20以上 25未満	~90km	非常に強い風	高速道路 の自動車	何かにつかまつていいないと立ていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	通常の速度で運転するのが困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。	30
25以上 30未満	~110km			屋外での行動はきわめて危険。	走行中のトラックが横転する。	固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。	40	
30以上 35未満	~125km	猛烈な風	特急電車			外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。		
35以上 40未満	~140km					住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	50	
40以上	140km~							

## 雪害対策

大雪災害が発生した場合には公助だけでは対応が困難なことから、自助・共助での取り組みが非常に重要になります。まずは、家庭内や地域で大雪時の対応について話し合い、あらかじめ大雪に備えましょう。

### 車で外出する場合の備え

運転中に吹雪や地吹雪等により視界が悪くなったり、視界が真っ白になり何も見えない状況(ホワイトアウト)になった場合は、早めに停車帯やコンビニエンスストアなどへ移動しましょう。

雪道を運転する際には、スコップやバッテリーのブースターケーブル、スタック時のための牽引用ロープの他、事故などにより車に閉じ込められた場合に備え、防寒用にブランケットなども入れておくと安心です。車内で救助を待つときには、マフラー周辺に雪が積もったままエンジンをかけると、排気ガスが車の中に入り一酸化炭素中毒の危険性が生じるので原則エンジンを切りましょう。

### 路面凍結に注意

#### 信号交差点

#### 橋梁(橋げた)

信号交差点のある箇所では、車が発進や停止を繰り返すことによって、庄雪や凍結路面が摩擦熱で解けて、タイヤとの間に水滴ができるため、路面が非常に滑りやすくなることがあります。

橋梁区間では、ほかの区間と異なり夜間には橋の下からも熱が奪われる所以、路面の温度が低下しやすく、ほかの路面が凍ついていても橋の上だけは凍結していることがあります。



#### トンネルなどの出入口

トンネルなどの出入口は日陰になることが多い、局所的に路面が凍結している場合があります。周囲が雪景色の場合には、トンネルの中と外での明るさが極端に異なることで状況が見えにくくなることを踏まえ、トンネル出入口付近での突然の路面変化に備え、走行には注意しましょう。

### 冬道の歩き方

#### 坂道や横断歩道、バスやタクシーの乗降場所は特に注意!!

- 重心をやや前に、なるべく両手をあげて体のバランスを安定させることで転倒を防ぐことができます。
- 急に走ったり、歩く速度を変えるときは特に滑りやすくなるので気を付けましょう。

降り積もった雪よりも踏み固められて庄雪や氷となつた道のほうは滑りやすくなっています。そのため、たくさんの人や車が通る場所は特に注意が必要です。スニーカーや革靴、ハイヒールは雪道で滑りやすいためとても危険です。雪道では、撥水性・防水性に優れており、底が軟らかいゴム製で深い溝がある滑りにくい靴を履くことが大切です。

### 大雪が降った場合

#### 除雪作業の注意点

雪かきスコップなどの除雪用具を用意しましょう。また、作業中は転倒や屋根雪の落下に注意しましょう。県・町は、所管する幹線道路を中心に、除雪作業を行います。

町民の皆さんには、**共助の精神に基づき自宅付近の除雪を行うなど通行の確保、孤立・閉じ込め状況の解消に協力してください**。ただし、個人敷地内も含め、除雪した雪は事故やケガの元になりますので道路に出さないでください。

#### 落雪に注意

屋根の雪が解けはじめ、**大きなかたまりになって落下する場合があり大変危険です**。可能な限り屋根の雪を下ろすか、下に物を置かないようにしたり、通行者に注意を呼び掛ける表示をしましょう。

歩行等通行中は足元に注意するとともに、頭上にも十分注意してください。



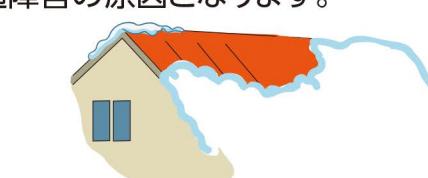
#### 備蓄をしましょう

積雪により外出できなくなる場合に備え、水(1人1日3リットルが目安)、食糧、灯油等の備蓄を確認しましょう。特別な非常食に限らず、普段から購入しているものを少し多く買いつきすることで十分です(最低3日分・推奨7日分)。



#### 外出は控えましょう

積雪時には不要不急の外出は極力控えてください。自動車等により雪が踏み固められると除雪が遅れ、交通障害の原因となります。



#### 地域で助け合おう

近所に1人暮らしの高齢者や障がいのある方がいる場合は、地域で協力して助け合いましょう。

